

春の到来を告げる 祭り始まる

3月13日(日)、照日神社境内で『荒佐春祭り』が開催されました。この祭りはこれまで、照日神社春祭りの名称で親しまれていましたが、今回より実行委員会が設立され、荒佐春祭りとしてスタートしました。

祭りは、五穀豊穡や平和を祈念する巫女舞『浦安乃舞』に始まり、野方保育園児による合奏やお遊戯、大崎中学校ボランテニア部による和太鼓演奏、カラオケ、日本舞踊など数多くの演芸が披露され会場を盛り上げました。

また、春祭りの醍醐味であ

剣道大会も同時開催

る神舞7段が奉納されるとともに、3年に1度奉納される棒踊りが行われ「サーサーサツ」の掛け声に合わせて「カチツ」「カチツ」と棒と棒が叩きあう音に来場者は釘付けとなり大きな拍手が沸きました。

また、照日神社剣道大会も同敷地で行われ、町内外から数多くの小・中学生剣士が参加し、熱気あふれる試合が繰り広げられ、応援に来ていた保護者からは大きな声援が送られました。

照日神社一帯はとてにぎやかで、春の訪れを感じられる一日となりました。

